

中国南京市における城壁空間の保全と活用に関する研究

王, 成康

<https://doi.org/10.15017/1441002>

出版情報 : Kyushu University, 2013, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 : Fulltext available.



論文審査の結果の要旨

本論文は、これまでに成立した城壁都市の形態、城壁に囲まれた旧市街地の類型、城壁と市街地の隣接関係、城壁の残存パターン等を概括した上で、現在の中国において残存規模が最大である南京市の城壁及び周辺の都市空間を含む城壁空間を対象として、城壁都市の類型と南京市の城壁の特徴、南京市における城壁の変遷と利用実態、南京市における城壁の保全に関する法制度と計画の特徴と課題を明らかにした。さらに、城壁空間の特徴と現代的役割をふまえ、城壁の保全に関する法制度と活用方針を示すために、立地条件や空間の特性、住民の生活の実態等に配慮した保護区域と規制区域の設定、保全計画を策定する際の行政各部門間の連携、城壁の多面的活用の必要性等の重要な指摘を行っており、都市計画学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。